

2) 動物（アユの胃内容物） 注：経年比較は、H25 及び H27 が秋季のみのデータであることから、夏季のデータは用いず秋季のデータを用いた。

【参考資料 I -180 参照】

評価項目	視点	平成 28 年度の調査結果概要	評価概要
みお筋撤去前後のアユの 成育変化状況	胃内容物の変化 状況把握	・下代瀬は、H25 から H27 にかけて、全長等の各測定項目がともに増加し、H28 もほぼ全ての項目でそのレベルを維持している。H28 にはメスの胃関連の項目(胃総重量、胃内容物量、充満度、胃内容物沈殿量)の増加が顕著である。 ・道の駅坂本で H27 と H28 を比較すると、全長及び体長はほぼ同程度である。しかし、メスの生殖に関する項目(生殖腺重量、生殖腺指数)は減少している。ただし、雌雄ともに、胃関連の項目(胃総重量、胃内容物量、充満度、胃内容物沈殿量)は増加している。	・道の駅坂本は、アユの産卵場 となりつつある。



